

Professional Design Camp+ 006

| 2019 12/9 MON ~ 12/10 TUE |

シナリオプランニングで
未来を描く

労働人口の未来を予測する

～AIは人手不足を救って余らす！？～



Professional Design Camp

プロフェッショナルデザインキャンプは、参加者同士の共創を通じて、未来に求められる新たな価値を生み出し、そのプロセスを学び合う場です。様々な企業から集う参加者でチームを組み、共通のテーマのもとで、2日間で新たな価値の創出を試みていただきます。今回は、「シナリオ・プランニング」という手法を活用し、労働人口の未来について、将来起こり得る複数の未来シナリオを探求し、未来の課題の発掘することで、誰も予測できない未来に対する適応力を高める方法を学んでいただきます。また、未来に対する適応力を高める方法だけでなく、異業種の企業間でのコラボレーションのファーストステップとしていただくことを目指します。

テーマ

労働人口の未来を予測する ～AIは人手不足を救って余らす！？～

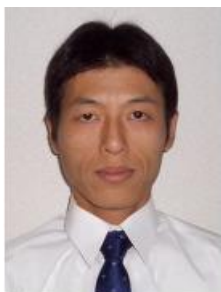
シナリオプランニングで未来を予測する方法を学ぶ題材として、今回は多くの業界で共有されている課題である、人手不足の問題とAIやロボット活用をはじめとするAI・自動化技術を取り上げます。

少子高齢化の進行により、人手不足の問題は今日の日本社会における深刻な課題となっています。政府統計によると、生産年齢人口は1995年（8,726万人）をピークに減少し、2019年には7,545万人となりました。これに伴って女性や高齢者の就業率の向上、外国人労働者の増加など、人手不足を補う動きが起こってきています。AIやロボット、自動運転等のAI・自動化技術による生産性の向上もまた、人手不足を解消するための手段として期待されています。

AI・自動化技術に関しては業界と企業規模により、抱える課題は異なります。製造業ではロボット等の自動化設備が中規模以上の企業で古くから一般的に使用されていますが、最近では小規模の企業も自動化設備を生産に活用し始めました。運輸業や建設業では自動運転トラックやAI技術搭載の建機が大手企業を中心に少しずつ普及し始めています。農業や漁業といった一次産業ではAI・自動化技術の普及にはまだ時間がかかりそうですが、AIによって熟練者の暗黙知を見える化して後継者に伝える試みも始まりました。その一方で、金融業界ではフィンテックの普及による余剰人員の問題が顕在化してきています。つまり、AI技術によって人手不足の解消が期待される一方で、AI技術が人の仕事を奪い人余りにつながる可能性もあります。

今回のプロフェッショナルデザインキャンプでは、専門家から現在顕在化している課題や新たなソリューションの動向を聞き、様々な企業からの参加者の知見をもとにして、シナリオプランニングを行います。この一見矛盾した状況に対して我々はどういう方向へ舵を切ることになるのか、起こりうる未来の方向性を考えましょう。

講師



「ことばを理解する人工知能のこれまでとこれから」

河原 大輔 / Daisuke Kawahara
京都大学大学院情報学研究科 准教授

1999年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。2002年同大学院博士課程単位取得認定退学。東京大学大学院情報理工学系研究科学術研究支援員、独立行政法人情報通信研究機構研究員、同主任研究員を経て、2010年より京都大学大学院情報学研究科准教授。自然言語処理、知識処理の研究に従事。博士（情報学）。



「技術進歩は仕事を減らしてきたのか — 個人と家族の働き方と労働時間を検討する —」

久本 憲夫 / Norio Hisamoto
京都大学大学院経済学研究科 教授

福岡県出身。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程学修(1986年)。京都大学経済学部助教授(1990年)を経て、1998年より現職。京都大学博士(経済学)(1999年)。専門は、社会政策、労働経済、労使関係。日本企業での働き方や雇用問題を主たる専門分野としている。著書に『新・正社員論』（2018年、中央経済社）他。

カリキュラム

DAY1 // 12/9 (月) 9:30~18:30 (～懇親会)	DAY2 // 12/10 (火) 9:00~18:00
オープニング シナリオ材料の収集	トレンドの追及 シナリオ作成 クロージング

主な流れとキーワード

※内容は状況により変更する場合がございますのでご了承ください。



プロフェッショナル・デザインキャンプ+005

前回の様子・参加者の声

昨年度は、2019年12月3日～5日の3日間で
「デザインイノベーションの方法論を学ぶ」～変貌する日本の10年後をデザインする～
というテーマで実施しました。

voilà

日々瞬発力的なプランニングに
追われる中、久々に腰をすえて
頭を使った

voilà

異業種のメンバーと議論することで、
自分だけで考えたら出ないアイデアが
発想できた

voilà

ファシリテータ・アドバイザーの
説明、助言によりグループワークが
活性化された

開催要項

日程	2019年12月9日（月）～10日（火）
会場	京都大学百周年時計台記念館（国際交流ホール1） 京都市左京区吉田本町 http://kyoto-u.ac.jp/ja/clocktower/
想定する参加者	一定の業務経験を有する若手（入社5～15年）以上の方で、以下の何れかに該当する方 ・イノベーションに意欲がある ・異業種とのコラボレーションに関心がある ※各社2名以上でのご参加をおすすめいたします。
参加のメリット	・デザインイノベーションの方法論を学ぶ ・異業種とのコラボレーション力の獲得と人的ネットワーク構築 ・各種デザイン手法の習得 ・新たなビジネスアイデア獲得
定員	30名程度
参加費	正会員A・E 100,000円 正会員B 200,000円 非会員 300,000円
申込方法	京都大学デザインイノベーションコンソーシアムのWEBよりお申込みください http://designinnovation.jp/topics/2019/10/professional-design-camp-006.html
申込〆切	2019年11月8日（金）
主催	京都大学デザインイノベーションコンソーシアム
後援	京都大学デザイン学リーディング大学院
問合せ先	京都大学デザインイノベーションコンソーシアム事務局 公益財団法人京都高度技術研究所 プロジェクト推進部内 澤本 Tel：075-323-7073 Email：info@designinnovation.jp

【留意事項】

- ・ プロフェッショナル・デザインキャンプ（以下「キャンプ」という。）で生じたアイデアについては、共創の場としての性格上、既に産業財産権が出願されているものを除き、公知のものとし、その活用は自由とします。キャンプで新規に生じた著作権については、著作者に帰属しますが、京都大学デザインイノベーションコンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）が作成する資料への使用並びに参加者及び参加者所属組織への再使用を許諾するものとします。
- ・ キャンプ実施のために必要となる既存の知財・研究成果・データは、参加者に予めその帰属を明示するものとします。ただし、当該知財・研究成果・データに関するNDAを参加者に求めることはしないものとします。
- ・ キャンプの結果は、主催・後援団体の発表会・Web・ニュースレター・各種展示を通じて公開します。
- ・ キャンプには、2日間通してのご参加をお願いいたします。
- ・ キャンプの様子は、写真・ビデオ撮影を行わせていただきます。また、撮影した写真・動画は、コンソーシアム及び京都大学デザインスクールの広報手段、講演資料、マスメディア提供資料、書籍などに用いる場合があります。個人が特定されないよう加工することをご希望の方は、キャンプ期間中に実行委員会に連絡をお願い致します。各グループの成果の概要は、Webやパンフレット等の各種広報物にて公開させていただきます。